

追加型投信／国内／不動産投信(リート)

信託期間 : 2020年10月2日 から 2030年9月13日 まで  
 決算日 : 3、9月の各15日(休業日の場合翌営業日)

基準日 : 2025年3月31日  
 回次コード : 3428

当ファンドは、特化型運用を行います。

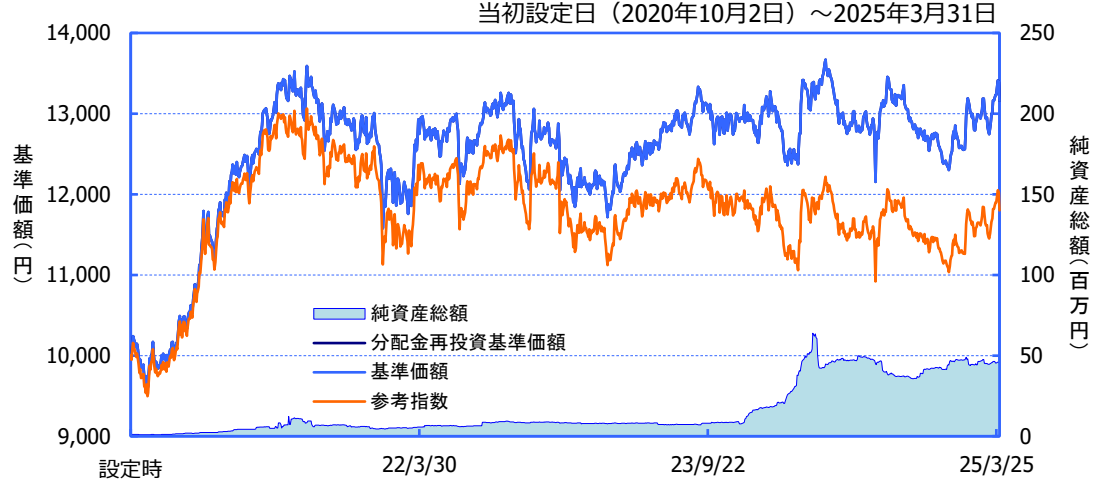
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

《基準価額・純資産の推移》

2025年3月31日現在

基準価額	13,160 円
純資産総額	44百万円
参考指数	4,364.91

期間	ファンド	参考指数
1カ月間	-0.2 %	-0.3 %
3カ月間	+3.7 %	+3.8 %
6カ月間	+0.3 %	+0.6 %
1年間	-1.1 %	-1.0 %
3年間	+2.6 %	-3.8 %
5年間	----	----
年初来	+3.7 %	+3.8 %
設定来	+31.6 %	+18.0 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。  
 ※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。  
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。  
 ※参考指数は東証REIT指数(配当込み)を使用し、参考のため掲載しています。  
 ※グラフ上の参考指数は、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。  
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

《分配の推移》

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1期 (21/03)	0円
第2期 (21/09)	0円
第3期 (22/03)	0円
第4期 (22/09)	0円
第5期 (23/03)	0円
第6期 (23/09)	0円
第7期 (24/03)	0円
第8期 (24/09)	0円
第9期 (25/03)	0円

分配金合計額 設定来: 0円

※分配金は、収益配分方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

※先物の建玉がある場合は、資産別構成の比率合計欄を表示していません。  
 ※リート ポートフォリオ特性値の予想配当利回りは、各社公表データを基に大和アセットマネジメントが算出したもの(税引前)であり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

※種別名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(GICS)によるものです。

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書(交付目論見書)を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成	資産	銘柄数	比率
国内リート	国内リート	41	97.7%
	国内リート 先物	1	1.5%
コール・ローン、その他			2.3%
合計		42	---

リート ポートフォリオ特性値	比率
予想配当利回り	5.51%

種別構成	種別名	比率	
合計97.7%	各種不動産投資信託	31.4%	
	オフィス不動産投資信託	23.7%	
	工業用不動産投資信託	17.4%	
	店舗用不動産投資信託	9.4%	
	ホテル・リゾート不動産投資信託	8.3%	
	集合住宅用不動産投資信託	6.9%	
	ヘルスケア不動産投資信託	0.6%	

組入上位10銘柄	投資法人名	種別名	比率
合計51.3%	ジャパンリアルエステイト	オフィス不動産投資信託	7.4%
	日本都市ファンド投資法人	店舗用不動産投資信託	7.1%
	大和ハウスリート投資法人	各種不動産投資信託	6.5%
	KDX不動産投資法人	各種不動産投資信託	6.3%
	日本ビルファンド	オフィス不動産投資信託	4.5%
	ジャパン・ホテル・リート投資法人	ホテル・リゾート不動産投資信託	4.4%
	三菱地所物流REIT	工業用不動産投資信託	4.1%
	コンフォリア・レジデンシャル	集合住宅用不動産投資信託	3.8%
	森トラストリート投資法人	各種不動産投資信託	3.7%
	グローバル・ワン不動産投資法人	オフィス不動産投資信託	3.7%

設定・運用:

**大和アセットマネジメント**  
 Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社

加入協会

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
 一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

コード	投資法人名	一口予想 配当金 (円)	市場価格 (円)	予想配当 利回り (税引前)	時価総額 (億円)	
1	8951	日本ビルファンド投資法人	2,400	127,400	3.76%	10,835
2	8952	ジャパンリアルエステイト投資法人	2,450	107,300	4.56%	7,634
3	8953	日本都市ファンド投資法人	2,780	95,700	5.80%	6,884
4	8954	オリックス不動産投資法人	3,880	176,200	4.40%	4,863
5	8955	日本プライムリアルティ投資法人	7,950	340,000	4.67%	3,390
6	8956	NTT都市開発リート投資法人	3,010	132,800	4.53%	1,968
7	8957	東急リアル・エステート投資法人	4,000	173,700	4.60%	1,698
8	8958	グローバル・ワン不動産投資法人	3,789	114,100	6.64%	1,139
9	8960	ユナイテッド・アーバン投資法人	4,000	148,600	5.38%	4,551
10	8961	森トラストリート投資法人	1,740	62,300	5.58%	2,218
11	8963	インヴィンシブル投資法人	1,895	63,000	6.01%	4,817
12	8964	フロンティア不動産投資法人	2,200	79,100	5.56%	2,140
13	8966	平和不動産リート投資法人	3,750	126,500	5.92%	1,512
14	8967	日本ロジスティクスファンド投資法人	2,150	92,100	4.66%	2,544
15	8968	福岡リート投資法人	4,037	148,200	5.44%	1,292
16	8972	KDX不動産投資法人	3,930	147,800	5.31%	6,029
17	8975	いちごオフィスリート投資法人	3,312	84,900	7.80%	1,320
18	8976	大和証券オフィス投資法人	6,920	294,900	4.69%	2,791
19	8977	阪急阪神リート投資法人	3,280	149,100	4.39%	1,037
20	8979	スターツプロシード投資法人	4,980	172,100	5.78%	486
21	8984	大和ハウスリート投資法人	7,000	236,800	5.91%	5,435
22	8985	ジャパン・ホテル・リート投資法人	4,461	72,500	6.15%	3,695
23	8986	大和証券リビング投資法人	2,600	88,700	5.86%	2,135
24	8987	ジャパンエクセレント投資法人	3,000	127,700	4.69%	1,688
25	3226	日本アコモデーションファンド投資法人	2,266	108,900	4.16%	2,741
26	3234	森ヒルズリート投資法人	3,090	134,000	4.61%	2,568
27	3249	産業ファンド投資法人	3,450	116,200	5.93%	2,947
28	3269	アドバンス・レジデンス投資法人	3,005	143,100	4.19%	4,101
29	3279	アクティビア・プロパティーズ投資法人	8,700	340,000	5.11%	2,693
30	3281	GLP投資法人	3,308	120,600	5.48%	5,786
31	3282	コンフォリア・レジデンシャル投資法人	5,750	264,100	4.35%	2,061
32	3283	日本プロロジスリート投資法人	5,600	231,600	4.83%	6,575
33	3287	星野リゾート・リート投資法人	4,610	202,700	4.54%	1,187
34	3290	Oneリート投資法人	7,020	243,400	5.76%	653
35	3292	イオンリート投資法人	3,400	123,800	5.49%	2,603
36	3295	ヒューリックリート投資法人	4,000	143,300	5.58%	2,064
37	3296	日本リート投資法人	2,288	82,800	5.52%	1,464
38	3309	積水ハウス・リート投資法人	2,320	79,700	5.82%	3,471
39	3451	トーセイ・リート投資法人	3,710	130,700	5.67%	492
40	3455	ヘルスケア&メディカル投資法人	3,140	108,700	5.77%	391
41	3459	サムティ・レジデンシャル投資法人	2,796	93,100	6.00%	794
42	3462	野村不動産マスターファンド投資法人	3,446	142,500	4.83%	6,621
43	3463	いちごホテルリート投資法人	3,613	123,400	5.85%	404
44	3466	ラサールロジポート投資法人	3,948	139,300	5.66%	2,522
45	3468	スターアジア不動産投資法人	1,625	54,000	6.01%	1,451
46	3470	マリモ地方創生リート投資法人	3,101	105,800	5.86%	298
47	3471	三井不動産ロジスティクスパーク投資法人	3,629	102,900	4.71%	3,313
48	3472	日本ホテル&レジデンシャル投資法人	1,932	67,800	5.69%	211
49	3476	投資法人みらい	1,300	42,550	6.11%	812
50	3481	三菱地所物流リート投資法人	3,147	114,900	5.47%	1,736
51	3487	CREロジスティクスファンド投資法人	3,782	145,400	5.20%	907
52	3488	ザイマックス・リート投資法人	3,661	112,100	6.53%	280
53	3492	タカラレーベン不動産投資法人	2,700	86,000	6.27%	783
54	2971	エスコンジャパンリート投資法人	3,486	114,600	6.08%	413
55	2972	サンケイリアルエステート投資法人	2,302	85,200	5.40%	398
56	2979	SOSiLA物流リート投資法人	2,971	108,500	5.47%	789
57	2989	東海道リート投資法人	3,299	105,100	6.27%	333

※J-REIT一覧の予想配当利回り(税引前)は、各投資法人の決算期間に応じて、年率換算をしております。

3226日本アコモデーションファンド投資法人、3481三菱地所物流リート投資法人は株価との比較のため、予想分配金を分割比率に応じて調整しております。

＜リート市況＞

J-REIT市場は小幅に下落しました。3月上旬は国内長期金利の急騰などにより下落しました。その後中旬以降は緩やかに上昇しました。良好な賃貸市場や自己投資口取得（バイバック）の発表が複数あったことなどが好感されたとみえています。しかし、月末にトランプ米大統領の関税政策への不安から株安が進むとJ-REIT市場も下落し、月間では小幅の下落となりました。

＜今後の見通し＞

海外投資ファンドによるNTT都市開発リートへのTOB（公開買い付け）は不成立となりましたが、J-REIT市場への影響は限定的でした。足元でJ-REIT市場では金利上昇による借入コスト増が懸念されていますが、好調な賃貸市況を背景とした賃料増額やバイバック、物件売却益の活用などにより、インフレに負けない増配を目指す銘柄が増えており、J-REIT市場は緩やかに上昇していくことを想定しています。

※東証REIT指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。  
 ※当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

- 各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。  
 アクティブ・リート・ニッポン（毎月分配型）：毎月分配型  
 アクティブ・リート・ニッポン（資産成長型）：資産成長型
- 各ファンドの総称を「アクティブ・リート・ニッポン」とします。

## 《ファンドの目的・特色》

### ファンドの目的

- ・わが国のリート（不動産投資信託）に投資し、安定的な配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざします。

### ファンドの特色

- ・わが国のリートに投資します。

■一般社団法人投資信託協会が定める「信用リスク集中回避のための投資制限」（分散投資規制）では、投資対象に支配的な銘柄が存在するまたは存在する可能性が高いファンドを特化型運用ファンドとしています。支配的な銘柄とは、次のいずれかの割合が10%を超える銘柄をいいます。

- ・投資対象候補銘柄の時価総額に占めるその銘柄の時価総額の割合
- ・運用管理等に用いる指数に占めるその銘柄の構成割合

■当ファンドは、実質的な主要投資対象に支配的な銘柄が存在するまたは存在する可能性が高い特化型運用ファンドです。このため、特定の銘柄へ投資が集中することがあり、発行体に経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

## 《投資リスク》

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

リートの価格変動 (価格変動リスク・信用リスク)	リートの価格は、不動産市況の変動、リートの収益や財務内容の変動、リートに関する法律制度の変更等の影響を受けます。組入リートの市場価格が下落した場合、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
その他	解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

## 《ファンドの費用》

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限) <b>3.3% (税抜3.0%)</b>	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	<b>年率1.023%</b> <b>(税抜0.93%)</b>	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配分 (税抜) (注1)	委託会社	年率0.45%
	販売会社	年率0.45%
	受託会社	年率0.03%
その他の費用・ 手数料	(注2)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託およびETFは市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

## 《お申込みメモ》

購入単位	最低単位を 1 円単位または 1 口単位として販売会社が定める単位
購入価額	購入申込受付日の基準価額（1 万口当たり）
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払い下さい。
換金単位	最低単位を 1 口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の基準価額（1 万口当たり）
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して 4 営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後 3 時 30 分まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの） なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にお問い合わせ下さい。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。
購入・換金申込受付 の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止その他やむを得ない事情が発生した場合には、購入、換金の申込みの受け付けを中止すること、すでに受け付けた購入、換金の申込みを取消すことがあります。
繰上償還	次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了（繰上償還）できます。 ・受益権の口数が 30 億口を下ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
収益分配	年 2 回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 （注）当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問い合わせ下さい。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に NISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 当ファンドは、NISA の対象ではありません。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。

## ◀ 当資料のお取り扱いにおけるご注意 ▶

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

▶ **大和アセットマネジメント** フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00)

当社ホームページ

▶ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

アクティブ・リート・ニッポン（資産成長型）

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社SBI新生銀行 <small>（委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券）</small>	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○		
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○	○		
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。